

印西市

# 男女共同 参画通信

2022.9

9/1は「防災の日」

印西市男女共同参画係は、8/6（土）に「親子でチャレンジ！防災ワークショップ～男女共同参画の視点と防災～」を開催！NPO法人パートナーシップながれやま代表理事の青木八重子先生が講師をしてくださいました。



報告レポートは裏面へ！



青木先生

## 災害時の備えって？

### 一石何鳥!? ランタン

スマホが充電可能なモデルも。ラジオが聞ける、電池、USBで充電、太陽光充電など、複合タイプがおすすめ。



意外と必須！カセットコンロ  
ライフラインが復旧するまで、カセットコンロがあれば調理ができる！またガスの復旧は電気などに比べて遅い場合も。

両手が空く！LEDヘッドライト  
懐中電灯でもヘッドライトなら両手が空くのでおすすめ。両手が空けば、夜のトイレなどでも活躍。



我が家では、防災について季節が異なる**夏至・冬至の日**と**防災の日**に考えることにしており、その日一日は備蓄している非常食を食べて過ごすなどしています。非常食は実際に食べてみる、防災グッズは使ってみることが大切です。非常時にいざ初めて使うより、慣れている方がいいですね。

**やってみないと分からない！**

**やってみると分かる、やってみることが大切です！**

定期点検が  
大事！



青木先生

## 避難することになったら？

避難所での集合は  
**細かく決める！**



避難所のどこに家族がいるのか分からない！場所は決めても、いつになったら来るのだろうか？

待ちぼうけやすれ違いを防ぐために、細かく決めることが大事。

○場所 校門の右側

○時間 午後3時に集合.....

家族と離れ離れ  
**家族写真**  
持ってる？



あなたは言葉だけで他人に家族の姿が伝えられますか？

相手は正確にご家族の姿を想像できるでしょうか？

携帯は充電の問題があるため現物で写真を持っていることが重要です。連絡先も同様に紙で！災害のショックで忘れてしまう場合も。

紅一点より  
**紅三点！**



避難所では、みんなで協力するために多様な意見が必要！固定的な役割だと、どちらか一方に負担がかかってしまいます。**料理もみんな、意思決定もみんな**で。ひとりでは意見が難しい場合は、同じ立場の方3人で行動してみましょう。

PICK UP

PICK UP

あなたらしく学ぶ、  
あたらしい防災

親子でチャレンジ!

# 防災 ワークショップ

男女共同参画の視点と防災

2022年8月6日(土)  
午前10時-12時

体験型親子防災講座を行いました!

印西市中央駅前地域交流館にて、親子5組、総勢16名の方と『親子でチャレンジ!防災ワークショップ』を行いました!大人も子どもも「なるほど」「そうなんだ!」と発見のある講座になりました。クイズやワークショップでは、親子でしっかり会議!避難所生活を想定し、防災リュックにおもちゃを入れると答えるご家族もいらっしゃいました。

防災クイズ



もんだいが  
たのしかった

防災かるたを  
つくろう



とてもたのしくて、  
はじめてしたこともあったので、  
「なるほど～」と、おもしろ

防災リュックを  
考えよう



じんわり

パウチのくだものの  
ゼリーが  
おいしそうだった

細かいところまで教えてくださり、  
ありがとうございます。  
今日教えてもらったことを  
生かしていきたいです。

大きなリュック、大きな手荷物を持って現れた青木先生。中にはたくさんの防災グッズが!みなさん興味津々で手に取っていました。お帰りの際、職員がお運びしましょうか?と聞くと「大丈夫です。自分で持ち運べる分しか持ってきていないので!」とのこと。とても説得力のあるお言葉でした。

講師  
青木 八重子 氏

NPO法人  
パートナーシップながれやま  
代表理事

